

日本と世界の縁起物

いろいろな縁起物の意味とルーツをご紹介します。よいことがありますように。

栗【日本】

栗の実を乾かし、白で軽くつき殻と渋皮を除いた保存食を「搗ち(かち)栗」といいます。その音が「勝ち」に通じることから戦国時代の武将たちは戦の前、験担ぎに食していたそう。

黄金色の実が豊かさの象徴にもなっている。



生で食べてもおいしいのはブナ科シイ類の実。

イラスト/野村俊夫

ドングリ【世界】

ブナ科植物の果実を総称して「ドングリ」といいます。小さな実が大木に育つことから欧州では成功の象徴になっており北欧には「ドングリを一粒持っている」と健康に長生きできる」という言い伝えも。

🎀 クイズ(P31)正解者の中から抽選で8名様に「日本と世界の縁起物」にちなんだプレゼントが当たります!

かがやき

R a d i a n c e

秋号

2019 Autumn
No.554

- 2 日本と世界の縁起物/栗・ドングリ
- 3 スペシャルインタビュー わたしのみち/野村 萬斎さん 狂言師
- 6 五感に響く!“初めて”は“楽しい”/革靴づくり体験
- 8 食べて元気になる! Dr.白澤の太鼓判/健康寿命をのばす リンゴ

● 共済組合からのお知らせ

- 10 支部運営審議会の報告/医療費の返還について
- 11 被扶養者がいる組合員の皆さまへ
- 12 平成30年度決算のあらまし
- 14 40歳から74歳までの皆さまへ 特定健康診査・特定保健指導のご案内
- 16 「超音波検査」とは?
- 18 器官別健診のご案内 (組合員の皆さまへ)
- 19 柔道整復師の施術について

- 20 育児休業を取得される方へ
- 22 介護休暇を取得される方へ
- 23 育児休業、介護休暇を取得される方へ/災害にあったとき
- 24 ねんきん定期便のご紹介
- 26 貸付事業のご案内
- 28 かがやきメイト通信
- 30 関東中央病院
- 32 職員募集のお知らせ
- 31 ●クイズ [1964東京オリンピックレガシークイズ]

今号の表紙



柚木沙弥郎
かたぞめだいりせきもんぬの
型染大理石文布
(紬・1982年)

ゆのぎ・さみろう ●1922年、東京生まれ。日本を代表する染色家。終戦後、思想家・柳宗悦が提唱する「民藝」に出会い、のちに人間国宝となる染色工芸家の芹沢銈介に師事。自然界の形象を、豊かな色彩とシンプルな形で模様として表す作品群は、国内外で高い評価を得ており、作品がデザインに使用されているアイテムも幅広い世代に人気。

■日本民藝館 所蔵 <http://www.mingeikan.or.jp>